

一般社団法人宮城県情報サービス産業協会

# MISA 平成 31 年度新入社員研修（募集のご案内）

※申込受付開始日 平成 30 年 12 月 17 日

1. 主 催：一般社団法人宮城県情報サービス産業協会

2. 目 的：【ビジネス系コース】

社会人として必要な基本動作から各種ビジネススキルやコミュニケーション力等の習得を通じ、新入社員の総合的な実務基礎力の養成と社会人意識の定着を図る。

【IT 技術系コース】

システムエンジニアに必携の基盤技術を系統的に習得し、業務アプリケーション開発演習を通じて新入社員の実装力の養成と技術思考スキル、人間力の本質的向上を図る。

3. 対 象：平成 31 年度採用の新入社員 ※MISA 会員・非会員は問いません。

4. 開催コース：

コース名	日程	受講料(税込)
<b>&lt;ビジネス系&gt; 定員：(1)、(1)ー特 あわせて 40 名</b>		
(1) ビジネス基盤養成コース	4/2(火)～4/11(木) (8 日間) 9：30～17：30	MISA 会員： 86,400 円 非会員： 108,000 円
(1)ー特 ビジネスマナー&コミュニケーション	4/2(火)～4/4(木) (3 日間) 9：30～17：30	MISA 会員： 38,880 円 非会員： 48,600 円
<b>&lt;IT 技術系&gt; 定員：40 名</b>		
(2) システム開発技術者育成コース	4/12(金)～6/10(月) (36 日間) 9：30～17：30	MISA 会員： 388,800 円 非会員： 466,560 円

5. コース再編について：

受講者の円滑なスキル習得を目的として、IT 技術系コースを再編いたします。カリキュラム詳細は別紙をご参照ください。

6. 会場(予定)：仙台市中小企業活性化センター セミナールーム(仙台市青葉区中央 1-3-1 AER 6 階)

7. 申込方法および募集期間：

別紙申込書にて MISA 事務局までお申込みください。なお、申込受付期間は下記のとおりです。

**申込受付期間：平成 30 年 12 月 17 日(月) 10 時 ～ 平成 31 年 1 月 25 日(金)**

※定員に達した場合は早期に締め切ります。

※締切日の時点で定員に空きがある場合、コース単位で2次募集(2 月中を予定)を行う場合があります。

8. お問い合わせ先：MISA 事務局 TEL; 022-217-3023 e-mail; [misa@misa.or.jp](mailto:misa@misa.or.jp)

## [添付別紙]

別紙1: MISA 新入社員研修の基本体系

別紙4: 新入社員研修申込書

別紙2: MISA 新入社員研修・カリキュラム

別紙5: フォローアップ研修内容【参考】

別紙3: 申込にあたっての留意事項

別紙6: 宮城県委託「新卒者等未経験者向け新人研修」について【予告】

### 「人材開発支援助成金(旧キャリア形成促進助成金)」など助成金活用をご検討ください！

※ (1) (2) のコースは、宮城県の認定職業訓練です。

※ 活用にあたっては、各社で事前に直接、各都道府県の労働局へ照会・ご相談をお願いします。

◆ 人材開発支援助成金(旧キャリア形成促進助成金)について(厚生労働省 Web ページ)

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou\\_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html)

## MISA新入社員研修の基本体系

### <育成人材像> MISA 企業の中核となり、将来を担うシステムエンジニアの育成

#### ① コミュニケーション

コミュニケーション力を発揮しながら、課題解決へ向けた具体的行動の取れる人材  
(2Way、プレゼン、論理思考、情報活用)

#### ② システム化思考力(業務応用力)

システムの構想から開発までのプロセスを理解し、顧客目線も交えてシステム化思考できる人材  
(SE業務プロセスの実体験、品質、納期など)

#### ③ 技術の本質的理解

プログラムの動作原理(ロジック)を理解しシステム開発において応用できる人材  
(アルゴリズム、DB、Webアプリケーション)

#### ④ 自発性・意欲

自らの仕事の意味をしっかりと理解し、自発的に勉強し、考え、活躍しようとする人材  
(自学の習慣づけ、技術を自ら追求する癖)

### <研修のコース体系>

#### ◆ビジネス基盤養成コース(8日間)

- ・社会人としての意識、基本動作、マナー
- ・ビジネスコミュニケーション、自己表現力
- ・情報セキュリティ基礎
- ・論理思考、文書作成、プレゼンテーション など



#### ◆システム開発技術者育成コース (36日間)

##### 前半(16日間):

##### アプリケーション開発に必要なIT基礎知識と開発実装力を養う(Java系)

- ・Javaプログラミング、データベース構成、SQL等の理解と、それらを活かした業務アプリケーション開発実装力(Java)を養成する。
- ・開発演習ではプログラミング工程・テスト工程の理解に重点をおき、同時に品質意識や責任感、納期意識なども身につける。



##### 後半(20日間):

##### オブジェクト指向型の設計・開発技術(JSP、サーブレット、MVC、UML等)とシステム開発プロジェクトの模擬実践

- ・Webアプリケーション開発の基盤技術を習得する。
- ・Java系のシステム開発模擬プロジェクトを通じて、オブジェクト指向によるシステム開発の標準的な手法を習得する。
- ・品質、納期への意識、計画性、技術探究心なども育む。

- ・チーム演習にて主体性やコミュニケーション、チームワーク力、またユーザー目線で考える力も同時に育む
- ・IT企業他社新人との交流・刺激の享受、社外の人的ネットワークの形成



各社独自の社内研修、OJTを経て即戦力技術者へ



#### ◆新入社員フォローアップ研修(9月、2日間)

- ・ビジネスマナーの振り返りと応用コミュニケーション力
- ・ビジネススキルと仕事意識の再構築、行動目標の策定

平成 31 年度 MISA 新入社員研修 カリキュラム

ビジネス基盤養成コース (8 日間) 4/2 (火) ~4/11 (木) 各日 9:30~17:30

※ビジネスマナー&コミュニケーション (3 日間) のみ参加のコースもございます

**コースの目的・狙い：**

社会人としての基本動作を習得すると共に、MISA 訓練ならではの特色であるビジネスの実践の場で要求される各種ビジネススキルやコミュニケーション力等の実務基礎スキルを育成します。

**対象・前提条件：**

平成 31 年度の新入社員 (※業界や職種を問わず参加いただける内容です。)

**育成・到達目標：**

1. ビジネスマナーの基本動作ができる。(挨拶、言葉遣い、接客・電話対応、身だしなみ、名刺交換等)
2. 組織で働く上での基本動作ができる。  
(ビジネス文書作成、報連相、効率性/正確性、PDCA、情報セキュリティ等)
3. 協調性・柔軟性を持った組織内・外コミュニケーションが実践できる。  
(チームワーク形成、ミーティング、職場の人間関係形成、接遇等)
4. 主体性・積極性を持った応用コミュニケーションが実践できる。  
(論理思考、プレゼンテーション、積極的傾聴等)
5. ビジネスコミュニケーション力を駆使し、実際の現場で即戦力となるビジネス活動ができる。

**カリキュラム (4/2~4/5)：**

科目・日程	概 要	講 師
開講式 4/2 (火) 9:20~	開講挨拶、及びオリエンテーション	
<b>ビジネスマナー&amp;コミュニケーション</b> (3 日間) 4/2 (火) ~4/4 (木)	<b>ビジネスマナー、コミュニケーション基礎</b> ・ 社会人としてのマナー、ビジネスの場で必要な各種コミュニケーションについて学習。 ・ 必須の各種マナーをはじめ、指示の受け方、報告の仕方、言葉遣い、接客・電話対応、接遇など現場で必須となる基本行動・コミュニケーション力について、社会人としての意識や人間関係・信頼関係の構築も交えて学習。 ・ ロールプレイング等を中心とした内容により、着実な定着と職場での実践につなげる。	キャリアトーク 志伯 暁子 (仙台市)
(3 日間コースをご受講の方には、4/4 (木) の講義終了後に修了証をお渡しします)		
<b>情報セキュリティ基礎</b> (1 日間) 4/5 (金)	<b>情報セキュリティ基礎</b> ・ 一般的な業務に潜む情報セキュリティ上のリスク (情報の保管、記憶媒体の管理、e-mail の利用、個人情報保護など) を想定し、その対策について学習。	ホライズンコンサルティンググループ (株) 庄司 和弘 (仙台市)

※4/5 までは 1 クラスにて実施、4/8 以降は 2 クラスに分割して実施します (次項)

**カリキュラム (4/8~4/11) :**

<p><b>ビジネスコミュニケーション&amp;プレゼンテーション</b> (2日間) Aクラス ; 4/8 (月) ~4/9 (火) ※プレゼン実習 4/9(火) Bクラス ; 4/10 (水) ~4/11 (木) ※プレゼン実習 4/11(木)</p>	<p><b>ビジネスコミュニケーション</b> ・仕事の進み方とその中でのコミュニケーションの役割や重要性を学び、必要となる顧客対応力(ヒアリング、e-mail、コンプライアンスなど)に関する応用的なコミュニケーション力を養う。 <b>論理思考、プレゼンテーション</b> ・ロジカルな思考力の鍛錬や相手に説明するためのシナリオ構成の仕方、プレゼンテーションのスキルについて学習。</p>	<p>マネジメントテクノロジーズ, LLC 尾田 友志 (東京都)</p>
<p><b>ヒューマンスキル&amp;ビジネス文書作成</b> (2日間) Aクラス ; 4/10 (水) ~4/11 (木) Bクラス ; 4/8 (月) ~4/9 (火)</p>	<p><b>仕事とチームワーク、ビジネス文書</b> ・仕事への取組意識、対人折衝、チームワークなど社会人必須のヒューマンスキルに関して、グループでの演習を交えながら実践的に学習。 ・社内外で必要となる文書作成の基本から、議事録・報告書の作成など文書作成を幅広く学習。</p>	<p>ホライズンコンサルティンググループ(株) 庄司 和弘 (仙台市)</p>
<p><b>コース修了式</b> 4/11 (木) 17:30~ 修了挨拶、及び修了証配布</p>		

- ※ 所属クラスは原則として企業単位で配分させていただきます。
- ※ 受講者の習熟度等に応じた柔軟な対応を行う目的において、カリキュラムや時間配分を一部変更する場合があります。

**【受講者交流会の開催について】**

地域の同世代の交流や刺激の享受、研修後の継続的なネットワークづくりを目的として開催します。

**受講者交流会 I** (飲食費用は当協会が負担します。)  
日時 ; 4/3 (水) 18:00~20:00 頃  
会場 ; 仙台市中小企業活性化センター内

- ※ 当交流会の受講者参加は任意です。出欠は別途確認させていただきます。
- ※ アルコール飲料を出しますので、未成年者の方は参加できません。ご了承ください。

**【プレゼンテーション実習 企業関係者の参観について】**

受講者各々がテーマに沿ったプレゼンを行い、講師の指導を受ける様子をご参観いただけます。

日時 ; Aクラス : 4/9 (火)、Bクラス : 4/11 (木) それぞれ午後を予定  
会場 ; 仙台市中小企業活性化センター内

- ※ 当実習の参観は任意です。
- ※ 時間は午後半日を想定していますが、受講人数により開始時刻が決定しますので、4/4 頃にスケジュール、プレゼンテーマ、参観案内を参加企業の皆さまへお知らせします。



**システム開発技術者育成コース（36日間） 4/12（金）～6/10（月） 各日 9：30～17：30**

**コースの目的・狙い：**

アプリケーション開発に不可欠な情報処理の基礎技術と開発実装力を養い、PBL（Project Based Learning）による Java 系 Web システム開発模擬演習を通して、システムの設計から実装、テストまで一連の開発工程に対する理解を深めます。Java によるプログラミング力の育成とデータベース構成や SQL の理解、それらをベースとした業務アプリケーションの開発演習を通じ、開発現場における実務的な留意点や品質意識、納期意識なども同時に学びながら、実装・テストのスキルを育成します。

**対象・前提条件：**

プログラマーやシステム開発技術者に必要な IT 基礎知識や開発実装力の育成をしたい企業  
開発工程一連の理解と、設計・実装力の育成を重視する企業  
(事前のプログラミング経験の有無は問いません。)

**育成・到達目標：**

1. Java の言語仕様、プログラムの基本原理を理解する。
2. 業務系システムの必須技術であるデータベースの基本技術を理解し実装できる。
3. Web アプリケーション開発に必要な実践技術（JSP、サーブレット、MVC モデル等）を理解する。
4. Java 系の模擬 IT システム開発プロジェクトの実践を通じて、オブジェクト指向によるシステム開発の標準的な手法や流れを理解できる。
5. チームでのプロジェクト推進の実体験を通じて、リーダーシップやコミュニケーション、主体性や計画力、納期を意識した行動を現場で実践できる。

**講師：**（株）ダベンポート 取締役 乳井 孝浩（仙台市）ほか、サブ講師を予定

**カリキュラム：**

科目・日程	概要
<b>開講式</b> 4/12（金）9：20～	開講挨拶、及びオリエンテーション
<b>システム開発プロセスと開発基礎知識</b> 4/12（金）～4/17（水） （4日間）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・IT 技術者に求められる資質のほか、システム開発における各工程（要求分析、要件定義、設計、コーディング、テスト、納品）の概要と留意点を学習。</li> <li>・コンピュータシステム基礎および周辺知識、アルゴリズム基礎を学習する。</li> </ul>
<b>RDB 入門と SQL 言語</b> 4/18（木）～4/22（月） （3日間）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データベースシステムの概要、SQL 言語を学習。</li> <li>・データベースの構造や ER 図による整合性のあるデータベース設計、SQL を使ったデータベース操作などを学習し、業務アプリケーション向け開発の基盤を形成。※MySQL</li> </ul>
<b>オブジェクト指向 Java プログラミング</b> 4/23（火）～5/7（火） （5日間） ※新天皇即位に伴う祝日・休日のため、4/27（土）～5/6（月）は休講となります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Java を題材にプログラミング基礎力の定着を図る。</li> <li>・Java の特徴やデータ型、基本構文（条件分岐、繰り返し、演算子）、クラスやメソッド、オブジェクト、JDBC によるデータベースアクセス等を学習。</li> <li>・クラスの継承や多態性、カプセル化などオブジェクト指向の概念に触れながら学習。</li> </ul>

<b>業務アプリケーション プログラミング演習</b> 5/8 (水) ~5/13 (月) (4日間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Java アプリケーション開発演習を行い、実装力を育成する。</li> <li>• 講師提示の課題（設計書、テスト仕様書）に基づき、プログラミング工程とテスト工程の演習を通して、業務アプリケーション開発について理解を深める。</li> <li>• 少人数チーム制により、プログラミングとテストそれぞれの相互チェック、スケジュール計画と管理を行う。</li> </ul>
<b>オブジェクト指向 開発モデル</b> 5/14 (火) ~5/15 (水) (2日間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• システム分析・設計の開発モデルを理解する。</li> <li>• UML による要求のモデリング、ユースケース図等のシステム分析や設計の基本的なパターンを学習する。</li> </ul>
<b>サーバサイド プログラミング</b> 5/16 (木) ~5/21 (火) (4日間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• サーバサイド技術である JSP/Servlet に関して学習し、Web アプリケーション開発力を支える基盤技術として吸収する。</li> <li>• 通信プロトコル、HTML や HTTP といった背景／関連技術の要点を交え、総合的な技術の吸収を狙いとする。</li> <li>• MVC モデル (Controller、View、Model) 設計に関して学習し、課題演習のシステム設計へとつなげる。</li> </ul>
<b>業務システム開発 プロジェクト演習</b> 5/22 (水) ~6/6 (木) (12日間)  <b>※参観：中間レビュー</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Java 系業務システム (Web アプリケーション) について、講師提示の課題 (RFP) に基づき、チームにて設計、開発、テストまで業務システム開発プロジェクトの流れを実践。</li> <li>• 他社参加者との混合チームを編成し、講師の指導を受けながら開発プロジェクト遂行の疑似体験を通じて、開発総合力を演習主体で学習。</li> </ul>
<b>業務システム開発プロジェクト演習・プレゼンテーション</b> 6/7 (金) ~10 (月) (2日間)  <b>※参観：最終プレゼン</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• チーム活動の振り返り (効率的なプロジェクト実行に必要な要素等)</li> <li>• 技術系コース全体を振り返り、得られた学び・気づき、自身の課題を整理。</li> <li>• プレゼンテーション準備</li> <li>• プレゼンテーション</li> </ul>
<b>コース修了式</b> 6/10 (月) 17:30~    修了挨拶、及び修了証配布	

※ 受講者の習熟度等に応じた柔軟な対応を行う目的において、カリキュラムや時間配分を一部変更する場合があります。

※ プログラム実習はフレームワークを利用し Windows 上で実施。DB は汎用性の高い MySQL を利用。

## 【受講者交流会の開催について】

地域の同世代の交流や刺激の享受、研修後の継続的なネットワークづくりを目的として開催します。

### 受講者交流会Ⅱ（飲食費用は当協会が負担します。）

日時； 4/15（月）18：00～20：00頃

会場； 仙台市中小企業活性化センター内

- ※ 当交流会の受講者参加は任意です。出欠は別途確認させていただきます。
- ※ アルコール飲料を出しますので、未成年者の方は参加できません。ご了承ください。

## 【企業関係者の参観について】

下記の2回、企業関係者の参観、助言をいただける機会を設けます。

### ① 5/30（木）開発システムの検証・評価（レビュー）

設計のレビュー、および議論の様子をご参観いただきます。

### ② 6/10（月）業務システム開発プロジェクト演習・プレゼンテーション

演習で構築したシステムの概要、演習（プロジェクト）の振り返り、研修全体を通じて得られた学び・気づき・課題等を報告します。

- ※ いずれも、会場は仙台市中小企業活性化センター内を予定しております。
- ※ 当実習の参観は任意です。
- ※ 時間は午後半日を想定していますが、受講人数、チーム編成等により開始時刻が決定しますので、各日程の1週間程前を目処にスケジュール、参観案内を参加企業の皆さまへお知らせします。

**平成 31 年度 MISA 新入社員研修 申込に当たっての留意事項**  
**※ 重要・申込の前に必ずお読みください ※**

**【申込にあたっての注意事項】**

**① 申込受付期間**

申込受付期間は平成 30 年 12 月 17 日（月）10 時～平成 31 年 1 月 25 日（金）です。この前後での受付はできかねます。なお、定員に達した場合は早期に締め切ります。締切日の時点で定員に空きがある場合、コース単位で2次募集(2月中を予定)を行う場合があります。

**② 受講者確定前の申込**

上記の募集締切までに受講者が確定しない場合、受講人数枠での申込みもできます。MISA事務局宛に別途ご相談の上、申込書送付をお願いします。

**③ 受講料のお支払い**

受講確定後、MISA 事務局より請求書と受講案内をお送りいたしますので、指定期日までに振込をお願いいたします。請求書発行後のキャンセルは一切できませんので予めご了承ください。

**④ 事前スキル調査**

受講者の属性や技術経験等に関する事前アンケートを2～3月に実施します。アンケートフォーマットは原則メールにてお申込窓口ご担当者様へお送りいたします。調査の結果は研修運営やグループ分け等の参考にしますので、指定の期日(3月中旬～下旬を予定)までにご提出ください。事情により期日に間に合わない場合はご相談ください。

**⑤ 修了要件について**

本研修の修了要件はコース毎に出席率80%以上となります。

**⑥ 別紙5：「新入社員フォローアップ研修」について（事前調査）**

参加を予定される場合は申込用紙に「○」を記入してください(受講義務は発生しません)。本募集の際、定員を超える申込みがあった際に優先的に参加できます。

**⑦ 別紙6：宮城県委託「新卒者等未経験者向け新人研修」について（予告）**

正式なご案内は宮城県・MISA 間の契約成立後となります。受講者は非情報系出身者限定、また、「MISA 新入社員研修」受講確定後の「新卒者等未経験者向け新人研修」への振替は不可となりますので、各研修のお申込にあたっては十分ご注意くださいようお願いいたします。

以 上



宮城県情報サービス産業協会 事務局 御中  
 Fax: 022-217-3055 E-mail: misa@misa.or.jp

## 「MISA 新入社員研修」申込書

※申込受付開始 平成30年12月17日10時～

貴社名			
貴社住所	(〒 - )		
申込担当者名		所属・役職	
TEL		E-mail	

参加者欄					
参加者氏名	(フリガナ)	申込コース(○記入)			フォローアップ研修 (事前調査)
		ビジネス系(いずれか) (1)	(1)-特	IT技術系 (2)	
1					
2					
3					
4					
5					

【アンケート】 助成金の利用を予定している場合は助成金名をお知らせください。 (例: 人材開発支援助成金「認定実習併用職業訓練」)

### 【募集コース】

コース	日程	コース名
(1)	平成31年4月2日～4月11日	ビジネス基盤養成コース
(1)-特	平成31年4月2日～4月4日	ビジネスマナー&コミュニケーション
(2)	平成31年4月12日～6月10日	システム開発技術者育成コース

### 【事前調査コース】

コース	日程	コース名
	平成31年9月3日～4日(予定)	新入社員フォローアップ研修

※「フォローアップ研修」の欄は事前調査を目的としています。新入社員研修の申込時点で受講を予定される場合に「○」をつけていただければ、正式募集時に定員超過となった場合に優先的に参加できます。なお、本調査の回答による受講義務は発生しません。後日、正式な募集案内を発行しますので、申込書のご返送後、正式受付といたします。

※研修運営に必要な連絡は原則メールで行いますので、担当者メールアドレスは必ずご記入ください。

※5名以上の申込の際は本用紙を複写してご利用ください。

※受講者の個人情報に関してはMISA事務局での保管となり、MISAの個人情報保護規定に基づき運用いたします。目的外使用は致しません。



[別紙5:参考]

## 一般社団法人宮城県情報サービス産業協会 新入社員フォローアップ研修内容（参考）

### ◆研修目的：

平成31年度採用の新入社員を対象に、新入社員研修とその後の実務、あるいはOJT／社内教育を踏まえてフォローアップを行い、会社からの期待に応えられる人材になるための主体的な実行力や自己成長力の向上とプロ意識の確立、対人能力やビジネス思考力のアップを図ります。

また、入社から数ヶ月程の期間が過ぎた中で、同世代の異なる企業の受講者間での交流を深め、刺激を享受し、社外人的ネットワークの形成、今後の成長の糧となることも目的としております。

**受講対象者：**平成31年度採用の新入社員

※業種、所属部門等は問いません。

※MISA 新入社員研修の受講有無や、MISA 会員・非会員は問いません。

(新人研修申込時の事前調査欄に「○」をつけた方は優先的に受け付けます)

**日 時：**平成31年9月3日(火)～4日(水) (2日間) 9:30～17:00

**会 場：**仙台市中小企業活性化センターセミナールーム ※予定

**受 講 料：**MISA 会員:21,600 円／非会員:27,000 円 (いずれも税、テキスト代込み)

**定 員：**40 名

**お 申 込：**後日、一般参加者も対象とした募集案内の通知を行います。

### ◆予定カリキュラム（全て演習中心）：

研 修 名	内 容
<b>1. ビジネスマナー&amp;コミュニケーション応用</b> (志伯講師) 9月3日(火) 9:30～17:00(6.5時間)	<b>ビジネスマナーの振り返りと応用</b> ・挨拶、名刺交換、敬語、立ち振る舞い、言葉づかいや表現の仕方、電話応対など (ロールプレイング中心)  <b>ビジネスの現場でのコミュニケーション</b> ・プロの電話応対、真・報連相、相手に合わせて効果的に伝えるスキル、相手を動かす話のまとめ方、スピーチ術、自己理解・他者理解 など (ロールプレイング中心)
<b>2. ビジネススキル&amp;社会人基礎力</b> (庄司講師) 9月4日(水) 9:30～17:00(6.5時間)	<b>周りからの期待に応えるための必要スキルと社会人基礎力</b> ・実力ビジネスパーソンに期待される能力 ・現状の社会人基礎力の自己検証と評価、今後の行動目標設定 ・主体的キャリア形成と自己能力開発ポイント ・自己管理の手法 など

※研修の進捗や受講予定者の状況等により内容や時間配分等を予告なく変更する場合があります。

※1日目終了後、希望者による交流会を開催予定(別会費制)。

<講師> (※4月実施のMISA 新人研修「ビジネス基盤養成コース」の講師が担当)

1. 志伯 暁子 氏 (キャリアトーク 代表/仙台市)

2. 庄司 和弘 氏 (ホライズンコンサルティンググループ(株) 代表取締役/仙台市)



[別紙6: 予告]

一般社団法人宮城県情報サービス産業協会  
宮城県委託  
「新卒者等未経験者向け新人研修」について  
(予告)

MISA では、非情報系からの IT 業界への就職促進を主な目的とした「IT 企業就業促進型新人研修」を宮城県からの委託を受け開催する予定です。

正式決定は宮城県・MISA 間での契約成立後となり、詳細のご案内は 2 月末～3 月初旬頃となる見込みです。

受講者は**非情報系出身者限定**、また、「**MISA 新入社員研修**」受講確定後の「**新卒者等未経験者向け新人研修**」への受講振替は**不可**となりますので、各研修のお申込にあたっては十分ご注意くださいようお願いいたします。

現時点で予定されている開催要項は下記の通りです。

◆研修概要

本研修は文系・非情報系出身者の地元 IT 企業への就職促進を図るための宮城県の施策として開催するものです。人材採用力や育成余力に乏しい地域 IT 企業がコミュニケーション力や適性のある非情報系の人材を安心して積極採用できる環境を整えることを目的としております。

◆カリキュラム

- ・2019 年度は 2018 年度のカリキュラムと同等の内容を予定  
※2018 年度カリキュラムは MISA の HP から PDF をご参照ください。  
<http://www.misa.or.jp/?p=10703>
- ・2019 年度の開始は 4 月 2 日 (火) からを計画、合計 40 日間

◆受講条件 (基本的に 2018 年度と同等)

- ・受講企業は MISA 会員の有無を問いません。
- ・受講者は非情報系出身者に限定 (情報処理を専門とする学科以外の出身者であること)
- ・MISA 人財委員会が開催する認定職業訓練新人研修 (MISA 新人研修) の受講決定者については、宮城県委託研修募集開始後の受講振替は不可

◆その他

- ・正式決定は宮城県と MISA の間での契約成立後となり、詳細のご案内は 2 月末～3 月初旬頃の見込みです。

※宮城県委託「新卒者等未経験者向け新人研修 (文系・非情報系出身者限定新人研修)」に関するお問い合わせは、MISA 事務局までお願いいたします。

<お問合せ先>

一般社団法人 宮城県情報サービス産業協会 (MISA) 事務局  
〒980-0011 仙台市青葉区上杉 1 丁目 6-1 0 EARTH BLUE 仙台勾当台 5 F  
TEL ; 022-217-3023 e-mail ; [misa@misa.or.jp](mailto:misa@misa.or.jp)